

夏季月例研修会

吉野川源流・三之公川・原生林「水源地の森」の自然に触れる

期 日：平成 29 年 8 月 1 日（火）曇り

世話人：中井 弘、桜木晴代、冨井忠雄

【行 程】

奈良商工会議所前 8 時出発—高畑町—田原地区—針 IC（369 号線）—榛原（370 号線）—道の駅（宇陀路大宇陀）9 時頃—370 号線—169 号線—森と水の源流館 10 時頃（見学）10 時 30 分出発—三之公川出合 11 時過ぎ頃（昼食）—水源地の森散策—15 時頃出発—道の駅（杉の湯）川上 16 時—奈良商工会議所着 18 時頃

連日の焼け付くような日差しはなく、曇り空の中予定通り 8 時に出発。マイクロバスは「森と水の源流館」目指して 169 号線を走る。道中「大宇陀・吉野の歴史」や「大滝ダム」の話聞く。ダムは地元の反対運動が激しく完成までに 50 年の歳月を費やし費用も莫大なものになったとか。由緒ある丹生川上神社上社も水没し、移転後の発掘調査で遺跡が発見されたことなど興味深く聞く。「森と水の源流館」到着。ガイドの木村さんのお出迎えを受け入館、まず水源地の森へ入るために緊急連絡先を書く。

（危険なところなんだ～・・・チョット緊張する）

*実際マムシに遭遇、ヒルに血を吸われた人も・・・。



川上村は原生林 740ha を購入し水源地を守り続けている、と熱く語る木村さんの話に聞き入る。



バスで約 30 分細い道を走り登山口へ。ヒル除けに全員靴にスプレーしてもらい、河原へ降りてまず昼食。





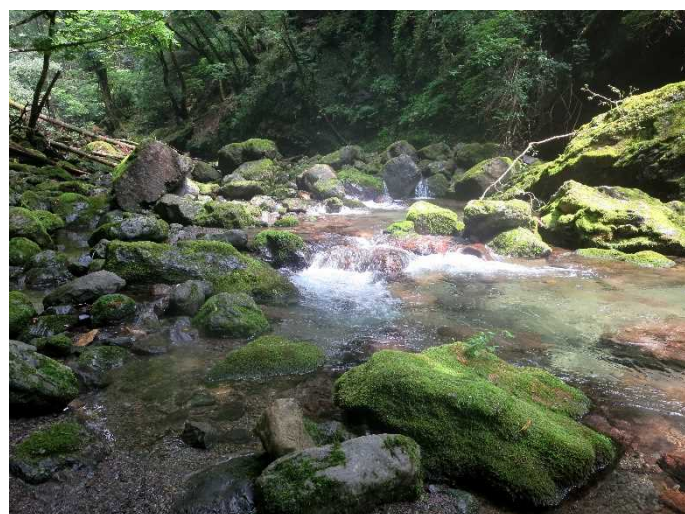
三之公川の山の神に参拝し、注意を聞いていよいよ原生林目指して出発。



頑丈に作られた木橋を恐る恐る渡る



日本固有種 トガサワラ



川上村の奥地、三之公地区には 500 年以上も昔から手付かずの森が残されている。



二つの川の出合い、
まだまだ奥は深いが
今日はここまで。

全員完走 バンザーイ！

アルバム制作：青木幸子

